

TOPICS

日本で初のテリドン展示会 七社が参加、商談も進む

カナダが開発した双方向文字図形情報システム「テリドン」を、日本に初めて紹介するセミナーと実演が、このほど大阪の科学技術センターと東京のサンシャインシティ内カナダ・トレード・センターで相次いで開かれた。

両会場とも記者、技術者、商社やメーカー関係者などが多数詰めかけ、熱心に質問をしたり、画面を操作したりして、テリドンへの強い関心を示していた。

参加したテリドン関連企業は、カナダからインフォマート、ノルバック、ノーザン・テレコム、AELマイクロテル、ジエネシス・



テリドンの実演に見入る来場者。

グループ、トミニオン・ティレクトリーの六社、それにケーブルシエア社の日本代理店アスキー・マイクロソフトを合わせた合計七社。

実演コーナーでは、各社がそれぞれ装置をセッティングし、国際電話回線を使ってカナダの各種データセンターから情報を呼び出したり、複雑な形のグラフィックを色鮮やかに描いて見せた。

参加企業によると、代理店契約の打診も多く、実際に入力装置などの商談も進んでいるという。

シエールから石油を抽出 カナダの学者が新技術

油を含んだ岩石「オイル・シエール」から油分を効率的に抽出する新技術が、このほど、ブリティッシュ・コロンビア州の科学者によって開発された。

北米大陸に埋蔵されているオイル・シエールは、中東全体の石油埋蔵量より多いと言われている。しかしその石油をいかにして抽出するかという問題が解決されず、せっかくの宝もほとんど眠ったまま。

今回、シヨセフ・サンタ博士らが開発した方法は、微粉状に圧砕したシエールにナフサのような溶剤と特殊な反応促進剤を混ぜ、遠心分離法によって油分（フログン

を分離するというもの。

さらに溶剤や反応促進剤を分離すると、高品質の原油が残る。これはそのまま精油所に送って、ガソリンなどの石油製品にすることができる。

サンタ博士によると、この抽油法は、従来技術のように高温処理の必要がないから経済的で、かつ環境汚染の心配もない。しかもシエールに含まれている油分の九七パーセントが回収できるといふ。

世界で初めて肺移植に成功

トロント総合病院で、このほど肺の移植手術が行なわれた。患者の経過は順調で、医師団はこれが世界最初の肺移植成功例になるものと期待している。

移植手術を受けたのは三十一歳の男性で、十年以上使っていた農薬によって肺に障害が起こっていた。肺の提供者は、銃の暴発で頭部を撃たれ死亡した米ジョージア州の青年。脳死が確認されたあと、心臓と肺が、人工的に機能を維持されてトロントに運ばれた。

移植手術は、医師、看護婦など三十人を動員して、六時間半がかりで行われた。

遭難機救助に新兵器が威力 人工衛星がSOSを受信

カナダの軽飛行機が九月九日、ブリティッシュ・コロンビア州北部の山中に墜落したが、その遭難

救助信号をソ連の航行衛星がキャッチしたおかげで、重傷を負ったパイロットら三人が無事救出された。

この衛星「コスモス1383」には、ソ連、米国、カナダ、フランスが共同で開発した探索・救助用トランスポンダ（電波中継増幅器）が搭載されていた。

米国の航空宇宙専門紙「エイヒエーション・ウィーク」によると、同衛星が受信した信号は、ただちにソ連、米国、カナダ、フランスの地上局へ送られ、オンタリオ州トレントンにあるカナダ軍救助コントロール・センターの指示で救援機が墜落現場に急行、事故があった翌日の早朝、重傷を負った乗員三人を救出した、という。

衛星を利用した四か国共同開発の遭難探索・救助システムが、その威力を発揮したのは、報道された中ではこれが初めて。

トルドー首相、内閣を改造 外務大臣にマケツカン氏

トルドー首相は、九月十日と三十日の二回にわけて、閣僚人事の異動を発表した。その結果、副首相兼大蔵大臣のアラン・J・マケツカン氏が副首相兼外務大臣、外務大臣のマーク・マツギガン氏が法務大臣、エネルギー・鉱山・資源大臣のマーク・ラロンド氏が大蔵大臣、国際貿易担当国務大臣のエドワード・ラムリー氏が通商産業大臣兼地域経済開発大臣に就任した。

マケツカン外相



そのほかの主な閣僚は次の通り。
●運輸大臣 シヤン・ルック・ペハン ●エネルギー・鉱山・資源大臣 シヤン・クレチエン ●インディアン問題・北方開発大臣 ジョン・C・マンロー ●予算局長官 ハーバート・E・グレイ
●農務大臣 ユーシン・F・ウエーラン ●消費者・企業問題大臣 アンドレ・ウーレット ●通信大臣 フランシス・フオックス ●国防大臣 ジル・ラモンターニユ ●漁業・海洋大臣 ビエール・デバネ ●国務大臣(国際貿易担当) ジェラルド・レーガン ●法務大臣兼検察長官 マーク・マツギガン ●国務大臣(多文化政策担当) ジェームス・S・フレミング ●国務大臣(中小企業・観光担当) ウイリアム・ロムキー ●国務大臣(対外関係担当) シヤルル・ラボワンテ ●枢密院議長 イボン・ビナール ●経済開発担当国務大臣兼科学技術担当国務大臣 ドナルド・シヨンスターン ●雇用・移民大臣 ロイド・アックスワージー。

「アニクD1」を打上げ テレビ中継用の通信衛星

カナダの五番目の国内通信衛星アニクD1が、八月末、米フロリダ州ケープ・カナベラルからNASAの二段式デルタロケットで打